

7月 どうぶつグループだより

2017.7.1

年主題：共にあゆむ

月主題：気持ちよく

月目標：友達や保育者と思いを合わせて祈る



土 砂 水に存分に触れて、心も体も解き放って遊ぶ

体を洗ったり、着替えたり、日陰で休んだりすることを心地よく感じる



お泊り保育を通して

ゆりのお泊り保育の前に、ゆりさんはクラスでの生活を中心に行い、ゆりさんでお泊りにいく準備やお泊りを楽しみに出来るように過ごしました。さくらさん・ばらさんは、グループでの生活を変えずに過ごしました。その中で、ゆりさんだけで給食やおやつを食べているのを見ていたさくら・ばらの子ども達。ゆりの子ども達は、いつも一緒に過ごしてしているさくら・ばらがいなくて、食事が終わるとお相手のお手伝いに来てくれました。また、ばらさんは、ゆりさんが一緒に過ごしていないことで、テーブルふきははりきってしたり、お相手のさくらさんのお手伝いをしようとする姿が見られました。お泊り保育前日は、ゆりさんの代わりにお手伝いをしてねとお願いをして出かけました。ばらのお友達は、ゆりさんの代わりに、たくさんお手伝いをして頑張っていました。

さくら…いつも色々なお手伝いをしてくれていたゆりさんがお泊りでいないと「ゆりさんは？」と寂しそうにしていました。でも、ゆりさんに「じぶんのことは がんばってね」と言ってもらったので自分で着替えなどできることは、頑張って取り組んでいました。ゆりさんが帰ってくると、「がんばったよ」と言っていました。

ばら…お泊り保育の間は一番大きいのはばらさんという意識を持って、自分のことをあつという間に終わらせて、テーブル拭きをたくさんしてくれたり、ベッド運びもまだあまりしたことのないお友達に対して教えてあげる姿がありました。また、お泊り保育をきっかけにベッド運びやテーブル拭き、お相手さんのお手伝いに興味を持ち始めたお友達もいます。お手伝いを通してできることが増えた喜びや楽しさを持ち、自信につなげていってほしいと思います。

ゆり…子ども達が楽しみにしていた八瀬のお泊り保育がありました。お泊りの週には、早くお泊り保育に行きたという気持ちのお友達と、少しずつお泊りが近づくにつれて緊張しているお友達がいました。しかし、お泊り前日は緊張しながらも楽しみにかわり、お泊り保育の当日を迎えました。さくらさん・ばらさんに「イッテキマース」と元気よく声をかけて、園を出発しました。八瀬に着くと、山登りをし、魔女さんからの手紙を見つけたり、さくらさん・ばらさんのプレゼントを作り、お風呂に入りました。夜には、みんなで作ったキャンドル台に火を灯し、キャンドルサービスを楽しみました。夜になり、寝る準備をしていると、「ココデ ネルノ」と、家に帰らずお泊りすることを実感したお友達もいました。今年の八瀬のお泊り保育、気候もよく、過ごしやすく、夜もぐっすり眠るお友達が多かったです。朝になるとお家の人と離れてお友達とお泊り出来たことで、自信がついた表情をしていた子ども達もたくさんいました。